

事業所における自己評価結果

| 事業所名 | アートチャイルドケアＳＥＤスクールイオンタウン川西 | | | | | 公表日 | 2026年 1月 14日 |
|----------|---------------------------|--|----|-----|---|---|--------------|
| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など | 課題や改善すべき点 | |
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 | 7 | 0 | 利用人数、お子様の特性を鑑みて適宜個室利用する等、職員間で相談しながらセッションに取り組んでいる。 | 9.第三者評価による外部評価は実施していない。毎年保護者アンケートによる事業所評価、職員による自己評価により課題の抽出、改善策の検討を行っている。 | |
| | 2 | 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。 | 7 | 0 | | | |
| | 3 | 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | 7 | 0 | | | |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。 | 7 | 0 | | | |
| | 5 | 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 | 7 | 0 | | | |
| 業務改善 | 6 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。 | 7 | 0 | 16.個別支援計画更新の際は保護者に「成長確認シート」、「個別支援計画作成にあたり」をご記入いただき聞き取りも含めてニーズの確認を行っている。ニーズを確認したうえでカンファレンスを行い、職員間で課題や支援の方向性を検討し、個別支援計画の作成を行っている。 | 16.個別支援計画更新の際は保護者に「成長確認シート」、「個別支援計画作成にあたり」をご記入いただき聞き取りも含めてニーズの確認を行っている。ニーズを確認したうえでカンファレンスを行い、職員間で課題や支援の方向性を検討し、個別支援計画の作成を行っている。 | |
| | 7 | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 7 | 0 | | | |
| | 8 | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 7 | 0 | | | |
| | 9 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | 4 | 3 | | | |
| | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | 7 | 0 | | | |
| 適切な支援の提供 | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | 7 | 0 | 16.個別支援計画更新の際は保護者に「成長確認シート」、「個別支援計画作成にあたり」をご記入いただき聞き取りも含めてニーズの確認を行っている。ニーズを確認したうえでカンファレンスを行い、職員間で課題や支援の方向性を検討し、個別支援計画の作成を行っている。 | 16.個別支援計画更新の際は保護者に「成長確認シート」、「個別支援計画作成にあたり」をご記入いただき聞き取りも含めてニーズの確認を行っている。ニーズを確認したうえでカンファレンスを行い、職員間で課題や支援の方向性を検討し、個別支援計画の作成を行っている。 | |
| | 12 | 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。 | 6 | 1 | | | |
| | 13 | 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | 7 | 0 | | | |
| | 14 | 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | 7 | 0 | | | |
| | 15 | 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | 7 | 0 | | | |
| | 16 | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 7 | 0 | | | |
| | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | 7 | 0 | | | |
| | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | 7 | 0 | | | |
| | 19 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。 | 7 | 0 | | | |
| | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | 7 | 0 | | | |
| | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | 7 | 0 | | | |
| | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | 7 | 0 | | | |
| | 23 | 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | 7 | 0 | | | |

| | | | | | | |
|--------------|----|--|---|---|--|--|
| 関係機関や保護者との連携 | 24 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | 6 | 1 | 今はまだ取り組めていないが、今後家族支援プログラムを実施していきたいと考えている | 24.現状川西市ではサービス担当者会議は開催されていない。関係機関連携で児童発達支援管理者と指導員とで園所を訪問した際に、園での困りごとや課題を共有し、スクールでの支援の方向性について話し合いを行っている。 27.就学に向けて小学校への「情報提供シート」を作成し、スクールで行っている支援内容について情報共有を行っている。 28.児童発達支援センターからスーパーバイズを受ける仕組みはないが、必要に応じて関係機関連携で情報共有や相互理解はできている。 29.スクールの特性上セッション中に地域の園所の子ども達と交流することはないが、関係機関連携で地域の園所との連携は拡大しつつある。 |
| | 25 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | 7 | 0 | | |
| | 26 | 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 | 7 | 0 | | |
| | 27 | 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 | 6 | 1 | | |
| | 28 | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。 | 6 | 1 | | |
| | 29 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他の子どもと活動する機会があるか。 | 3 | 4 | | |
| | 30 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 | 7 | 0 | | |
| | 31 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | 7 | 0 | | |
| | 32 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | 7 | 0 | 36については、検討中です | |
| 保護者への説明等 | 33 | 児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | 7 | 0 | | 36.今年度は保護者同士、きょうだい同士の交流の機会を持つことはなかったが、2026年度から空いている枠を利用して保護者同士が交流し、情報交換ができる機会を作ることを検討している。 41.2026年度から地域の方向けの遊び場の提供や育児相談を行っていく予定にしている。 |
| | 34 | 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。 | 7 | 0 | | |
| | 35 | 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 | 7 | 0 | | |
| | 36 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。 | 0 | 7 | | |
| | 37 | 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | 7 | 0 | | |
| | 38 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。 | 7 | 0 | | |
| | 39 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | 7 | 0 | | |
| | 40 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | 7 | 0 | | |
| | 41 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。 | 1 | 6 | | |
| | 42 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | 7 | 0 | 44について、自動ドアの電源を落とし、タッチだけではドアが開かないように工夫改善しました | 44.不審者が侵入した想定で行った避難訓練を実施した。その結果、セッション中は自動ドアの電源を落とし、ロールカーテンを閉めるという防犯対策が必要と話し合い、実行している。 |
| 非常時等の対応 | 43 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 | 7 | 0 | | |
| | 44 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | 7 | 0 | | |
| | 45 | 子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。 | 7 | 0 | | |
| | 46 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | 7 | 0 | | |
| | 47 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | 7 | 0 | | |
| | 48 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。 | 7 | 0 | | |